

平成21年度 鈴鹿市立天名幼稚園経営計画

1 前年度における園経営の反省と地域・園児の実態

- ・ 天名地区は緑豊かな田園地帯にあり、大部分の家庭が兼業農家である。園児たちは、自然環境に恵まれた家庭に育ち、素朴で人なつっこく従順である。また、少人数のため、ゆったりとして明るく、集団生活のルールは不十分な面もあるが守られている。しかし、大人の価値観の影響を受けて、自分がどう考えるか、思うかというよりも一面的な捉え方で、物事を判断する傾向が強い。
- ・ 平成元年竣工の本園は、木材を生かした保育室や遊戯室、小学校に続く広い園庭で、園児たちは伸び伸びと遊んでいる。園生活の中でも地域の中でも、子どもの数が少ないので自然と異年齢で関わりをもつ姿が多く見られる。
- ・ 自然環境に恵まれているものの、家庭に帰ってからの生活の中では、自然とふれあって遊ぶという経験は少ない。そこで、園外保育では、地域の方々のご協力により、米づくりやジャガイモ掘りなどの自然体験を通して、地域とのつながりを一層深めている。
- ・ 本年度も昨年度に引き続き、研修を深める中で、園の実態に即した創意と活力ある教育活動を進め、オンリーワンの園づくりをめざしていきたい。

2 園教育目標

「豊かな心を持ち、たくましく生きる子ども」の育成

めざす子ども像

- 健康で明るく、元気に活動する子
- 身近なものに興味・関心を持ち、想像力のある子
- 友だちと助け合い、仲良く遊び、思いやりのある子

3 園経営方針

- (1) 一人ひとりの園児や地域の実態をふまえて、一人ひとりに応じた思いやりのある指導を通して、生きる力の基礎の育成に努める。
- (2) 伸び伸びと活動できるよう、いつもきれいに整備された園づくりに努める。
- (3) 地域・保護者との連携を深め、家庭や地域に開かれた園づくりに努める。
- (4) 交流の場などを設けて、保育所・近隣公立幼稚園・小学校との連携強化に努める。

4 本年度の努力目標と達成方策

(1) 努力目標

- 園外保育を積極的に取り入れ、自然に親しむ中で、豊かな感性を育て、主体的な園児の育成をめざす。
- 何でも話し合える子どもの育成に努め、健康で安全な活気ある園生活をめざす。

(2) 達成方策

- 園児一人ひとりの生き生きとした活動を通して、まわりの人とつながる力を身につけさせる。
- 自然に恵まれた環境を生かし、積極的に園外保育に取り組み、自然とのふれあいを大切に保育に努める。
- 楽しい園生活の中で、何でも言い合える友だち関係を作り、豊かな心情を育てる。
- きめ細かな記録をとり、その活用を図り、園児一人ひとりへの適切な支援を進める。

5 その他

〈本園の特色〉

- ・ 小学校と一貫した7年教育
- ・ オンリーワンの地域教材，地域人材を生かした保育実践
- ・ 人とかかわる力を育成する交流体験